『一九〇〇年前後のベルリンの幼年時代』索引冊子の作り方

ヴァルター・ベンヤミン／田中純 訳・解説（講談社学術文庫）

本書の索引（人名索引・地名索引、全13頁）を、文庫本に収まる大きさ（約100×141mm、16頁）の小冊子にして、本の奥付の向かいのページに貼り込む方法です。A4の普通紙2枚でできます。

用意するもの　A4の普通紙2枚／カッターと定規（またはペーパーカッター）／ホチキス／薄手の両面テープ

印刷用ファイル

索引冊子_印刷用_両面.pdf　両面印刷できるプリンター用（4頁＝A4用紙2枚の表裏）

索引冊子_印刷用_表面.pdf　両面印刷ができない場合に、片面ずつ印刷する用
索引冊子_印刷用_裏面.pdf

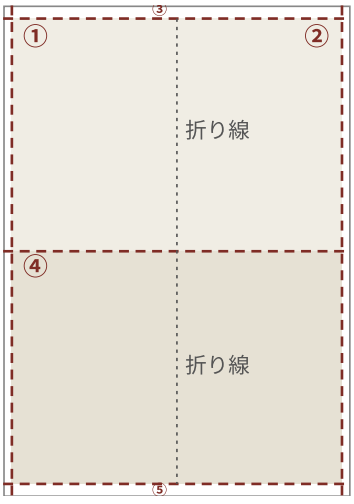
1 印刷する

どの場合も **用紙A4・縦向き・「実際のサイズ（100%）」** で印刷します。「用紙に合わせる」「縮小」は選ばないでください（すでに文庫に収まる大きさにしてあります）。

- **両面印刷できる場合：**「索引冊子_印刷用_両面.pdf」を、両面・**長辺とじ**で印刷します。
- **片面ずつ印刷する場合：**まず「表面.pdf」を印刷します。出てきた2枚を、印刷面を裏返し（上下は入れ替えない）、1枚目（「人名索引」の頁がある紙）に裏面の1頁目が印刷されるようにトレイに戻して、「裏面.pdf」を印刷します。紙の差し入れ方はプリンターによって違うので、はじめに裏紙で向きを試しておくと安心です。

印刷できたら、紙を光にすかして、表と裏の天地（上下）がそろっているかを確かめてください。

2 切る

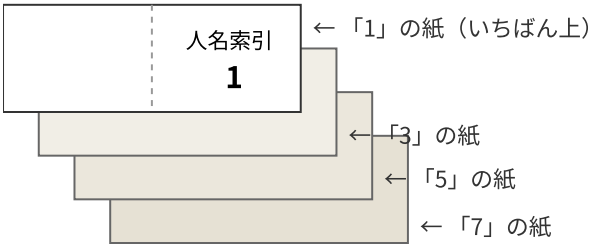


紙の四隅と中央にある細い線（トンボ）を目印に、赤い破線の位置で切ります。2枚を重ねて、端をそろえてから一緒に切ると早く正確です。

1. 左右の縦の線（①②）で切る。
2. 上・中央・下の横の線（③④⑤）で切る。

横長の紙が4枚（各約200×141mm）できます。図の中央の点線は折る位置の目安です（紙には印刷されません）。左右の端をそろえて、ちょうど半分に折ってください。

3 重ねて折る



4枚を、**索引の頁番号「1」「3」「5」「7」が右半分に見える面**を上にして、**上から 1・3・5・7 の順**に、四辺をそろえて重ねます（「1」の紙がいちばん上）。

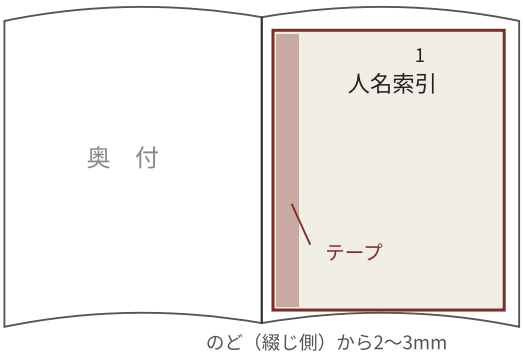
そのまま、**左半分を下へ回すように**二つ折りにします（重ねた束を裏返してから、手前に半分に折っても同じです）。表紙に「人名索引」の1頁が来て、頁が1から13まで順に続けば正しく折れています。定規の縁などで折り目をしっかり押さえます。

4 綴じる

冊子を開いて表紙側を上にし、厚手の段ボールなど針が刺さる台の上に置きます。ホチキスを平らに開き、折り目の線の上、上下の端からそれぞれ約3.5cmの2か所に、真上から針を打ち込みます。台から外し、冊子の内側に突き出た針の足を、爪やスプーンの背で内側へ倒します。

中綴じ用のホチキス（口の奥行きが長いもの、口が回転するもの）があれば、閉じたまま留められます。ホチキスを使わず、重ねた紙の折り目の内側に細くのりを引いて留めてもかまいません（冊子は本に貼るので、ばらけることはありません）。

5 本に貼る



本の最後の見開き――左ページが奥付、**右ページ**に講談社のロゴと「本書は、講談社学術文庫のための新訳です」とある見開き――を開きます。この右ページに冊子を貼ります。

1. 冊子を**表紙（人名索引）を上**に、**折り目をのど（本の中央の綴じ側）に向けて**右ページに置き、のどから2〜3mm離して、天地の余白がそろう位置を決めます。のどに押し込みすぎると本が開きにくくなります。
2. 冊子の裏表紙（白紙）の、**折り目に沿った幅5mmほど**に両面テープを貼り、位置を合わせて貼ります。
3. 本を閉じ、しばらく重しを載せて押さえます。

冊子は左へ（奥付の側へ）めくって読みます。

※ 冊子を貼ると、右ページのロゴと「本書は、講談社学術文庫のための新訳です」の一行が隠れます。
※ 液体のりは紙が波打ちやすいので、薄手の両面テープをおすすめします。小口側が浮くのが気になる場合は、小口側の上下の角を小さなテープで留めてください。